

# 図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：6/5(月)・12(月)・19(月)・26(月)・29(木)

## ゴリラ裁判の日

(須藤古都離、講談社)



ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラだ。人間の子供を助けるために、という理由で、夫ゴリラが射殺される。そしてローズは、人間に戦いを挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

## 雨にシュクラン

(こまつあやこ、講談社)



憧れの高校に合格し、書道部に入った真歩。しかし、父の療養のために引っ越しをすることに。高校を辞め、図書館の宅配ボランティアを始めた真歩は、本を届けに行った家でアラビア書道というアートに出会い…。

## マンガケーススタディゲーム依存

(三原聡子、法研)



さまざまな背景や経緯でゲーム依存に悩み、治療法を模索してきた患者たちの事例をマンガで紹介。ゲーム依存の基礎知識、家庭でできるゲーム使用コントロールの工夫、コミュニケーションの考え方なども解説する。

## ほしまつりがやってくる!

(杉田比呂美、アリス館)



小さな村にやってきた、10年ぶりの「ほしまつり」。村のみんなは、張り切って準備を始めます。たくさんの人で賑わうおまつりの日、夜が更けて、村長さんの合図で明かりが消えると、そこには…。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示「6月・7月の今日はなんの日?」「うみのえほん」
- ▶としょかんスタンプラリー開催中 7/30(日)まで
- ▶絵本のおみせかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。
- ▶図書館にご来館の際は、マイバッグをお持ちください。

# 歴史探訪

## 『南総里見八犬伝』と垂井

垂井地区の御所野に史跡「春王・安王の墓」があります。室町時代に起こった結城合戦で捕らえられた幼い兄弟が、京都に送られる途中の垂井の地で命を奪われ、この墓が作られました。

江戸時代、滝沢馬琴は『南総里見八犬伝』でこの史実をとりあげています。物語の序盤で、八犬士の一人、犬塚信濃(孝)の祖父匠作と父番作が、春王・安王の家来として登場し、垂井でこの二公子の首をめぐり大乱闘を演じる場面があります。

物語の終盤では、八犬士が垂井の金蓮寺に差し掛かったところ、夢のお告げにより春王・安王と匠作の首を持って現れた局平と出会い、三人を葬る場面が描かれています。垂井町御所野には、二公子の墓と乳母と伝わる墓の三基の墓石があり、馬琴はこの三つの墓を物語に活用しています。

タルイピアセンターミニ企画展で『南総里見八犬伝』を展示していますので、ぜひお越しください。

## 『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円

ミニ企画展「収蔵品展『絵で見る歴史』」  
5/2(火)～7/17(月・祝)



▲『南総里見八犬伝』金蓮寺の門前に戊孝局平に逢う